

春の交流会に参加して

新潟市在住 風間左智

この度はふるさと上越ネットワークの「春の交流会」に参加させていただき、大変お世話になりました。

上越の雄大な自然、上越の皆様の暖かさや素晴らしさに触れることができ、また上越の多くを学ぶことができました。

活気ある和やかな雰囲気の中で花見の宴が開かれました。昭和41年創業、お豆腐屋さんが営む食堂「なかしま食堂」の美味しいお料理を堪能しながら、会員様同士の強い団結力、土橋 均副市長様はじめ議員様職員様もいらして、ふるさと上越の自然や桜を愛し守ろうとする方々の心意気を感じました。

頂いた名刺の中に上越の村山秀幸市長様のお言葉『上越市には、海、山、里、川と雪が育む食の恵み、心を癒す景観があります。そのことを全国の皆様にお伝えしたく「ふるさと越後大使」をJネット会員の方々にお願いしました。上越市ならではの魅力確かめに、是非一度お越しください。春よし、夏よし、秋よし、冬またさらによし。心よりお待ちしております。』と謳われており、この方々が上越の地を支え、発展のために力を注いでいらっしゃるのだと感激致しました。

会員様とのたくさんの暖かいご縁を頂いたこと、ふれあいを頂いたこと、歌まで歌わせていただいたこと、心から感謝申し上げます。

伊藤利彦様の素敵なガイドを聞きながら越後秘湯「宇津俣鉱泉」の牧湯の里 深山荘へと向かい、議員様より牧区のだぶろくをご馳走になったり雪太郎大根のお料理をはじめ海の幸山の幸を堪能したりしました。

翌朝は、山々の大絶景を後にして会津墓地へ。高田藩会津藩の藩士の無念さが埋め込まれたこの史跡を守る上越の皆様の想い、朝の澄んだ空気の中、親鸞聖人が浄土真宗を開いたことに由来する名利、国指定重要文化財浄興寺本堂での参拝もさせていただきました。聖人の御頂骨を収めた御本廟の彫刻も見事でした。丁寧にご説明いただいたガイドの方、お寺の方にも感謝でした。武蔵野酒造さんでは社長様よりお酒のできるまでをご説明いただきとても勉強になりました。



お昼は楽酔亭にて

醸造学・麹菌の研究を通じて酒の博士として親しまれ、文化勲章やフランス・レジオンドヌール勲章などを受賞された坂口謹一郎博士の生誕120年記念で作られた全品発酵食品の「腸美人 サカキンさんのおべんとう」を武蔵野酒造さんの美味しいお酒「スキー正宗朝一搾り平成三十年四月六日蔵出し」と共に堪能致しました。

上越市は、夏は高温多湿、冬も雪により低温多湿という発酵に適した気候風土の中にあり、世界的権威となる坂口謹一郎博士や日本のワインの父と呼ばれる川上善兵衛氏など、微生物研究や発酵食品に関わりの深い偉人を数多く輩出しています。

身体に栄養をたくさん頂いた後は榊神社でのお祓いの機会にも恵まれました。

その後に向かったオーレンブラザでは今年の12/2の新潟バッハ管弦楽団&合唱団として参加させていただく演奏会の下見ができありがたかったです。当日は感謝を込めて演奏したいと思います。その名の通り（オー・・・桜、レン・・・蓮）桜と蓮の花が見渡せる素敵な建物でした。

あるるん畑や観光物産センターで新鮮な山菜や上越の美味しいお土産を買ってホテル米本陣へ。まるで天国にいるような空中風呂やとても美味しい最高のお料理を堪能し、はじめてのイサザの踊り喰いも体験できて本当に幸せな時間でした。

夜中まで皆様と楽しいひと時を過ごし、美味しい朝食を堪能した後は朝市で新鮮な山菜をおみやげに、桜並木を通り妙高山からパワーを頂き友楽里館にて美味しいお弁当を頂きロッテアライリゾートの中まで入ることができ、盛りだくさんの内容で旅を満喫することができました。

この旅行で感じたことは上越ネットワークの皆様が上越のことを心から愛し、遠く離れて生活していてもいつもふるさとを大切に思っていること。

皆で協力しあい励ましあい助け合い守り合い、本来人間はこうあるべきと教えていただいた思いでした。

時には幼き頃からの学校時代の話に花を咲かせ、素敵な時間が目に浮かぶようでした。この度の機会を作ってくださった田中幸子様には深く深く感謝申し上げます。

旅行から戻ってきても石臼練り坐り熟成された魚住美食かまぼこ酒粕の力に堪能し、メグスリノキのお茶を頂いたり、まだまだ余韻に浸ったりしています。今から来年の旅行が待ち遠しいです。夢のような有意義な楽しい暖かい旅をどうもありがとうございました。

